

2023年 CDP水セキュリティ質問書

導入編

2023年4月

CDP Worldwide-Japan



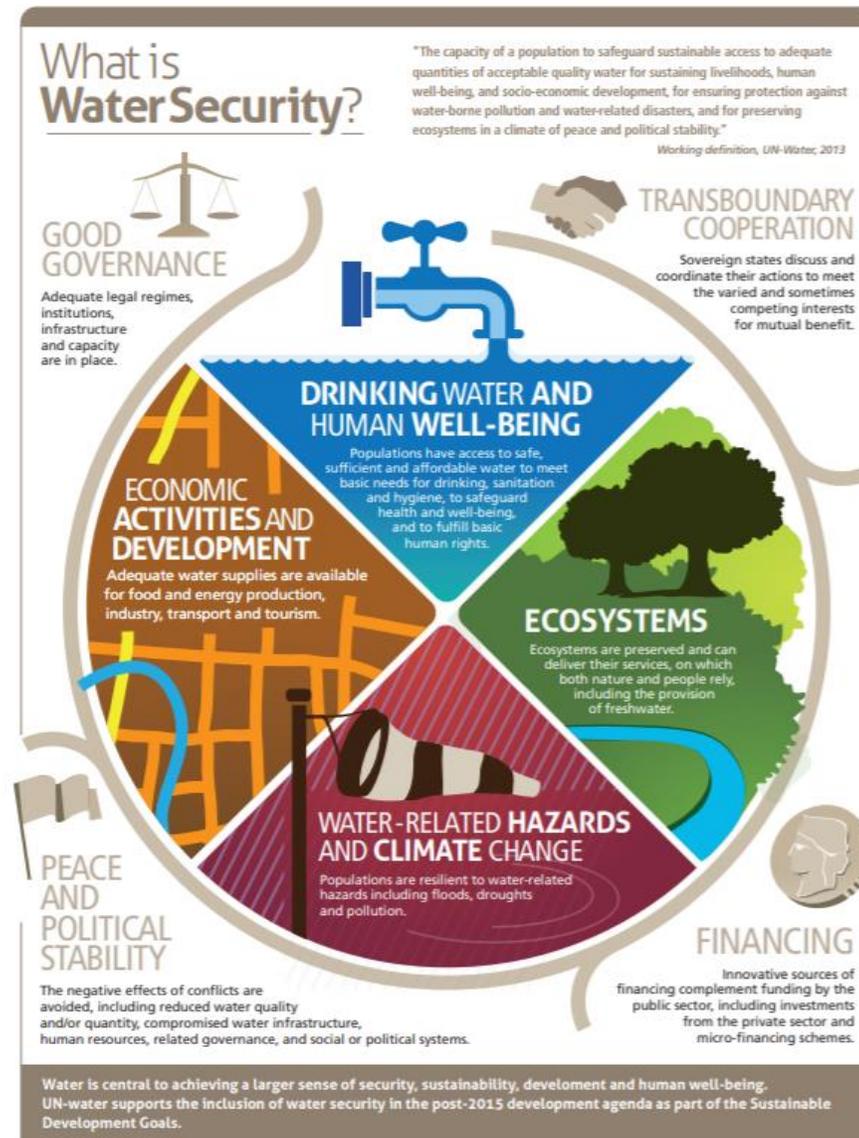
水セキュリティ（水の安全保障）とは

生活、人間の福利、社会経済的发展を維持し、水を媒介とする汚染や水関連の災害からの保護を確保したうえで、

平和で政治的安定性のある気候の中で生態系を保全するため、

適切な量の良質な水への持続可能なアクセスがあること

UN-Water, 2013



気候・森林・水の関係性

水資源は気候変動の緩和と
適応戦略に不可欠な要素



熱帯林は2030年までに必
要な気候変動緩和の23%を
貢献可能

気温の上昇と気象パターンの
変化が水の利用可能性
にストレスを与える



気温上昇や気象パターンの
変化による干ばつが森
林火災のリスクを上昇

世界の75%の淡水は
森林に左右される

CDP水セキュリティプログラムの目的



水の報告基準の確立

- CEOウォーター・マンドート、WRI、WWF、WBCSD、GRIなどと協働

水の情報開示の改善

- CDPウォーター
- CDPサプライチェーンウォーター

ウォーター stewardshipの向上

- 自社からバリューチェーンに渡る包括的な水利用に関する知見を持つ。
- 水問題が事業に与える、または事業が水問題に与える、現在および将来の影響を理解している。
- 事業を行っている地域の水資源の優先課題を適切に考慮して、リスク緩和をするための計画策定やプロセスを実行している。



水セキュリティ質問書に回答する意義



- ▼ 世界の水需要が増加している一方で、気候変動による干ばつの影響等により供給が減少傾向にあり、2030年までに世界の水供給は56%不足する見込み。
- ▼ 水リスクの財務への潜在的な影響は3360億米ドルに上る。行動を起こさない場合のコストは、行動を起こした場合のコストの5倍。
- ▼ 2020年にCDPに報告された水関連のビジネス機会の総額は7110億米ドル。
- ▼ CDP水セキュリティ質問書に回答し、水リスクとその影響を認識することで、水管理への理解を深めることができ、サプライチェーンのレジリエンス向上が可能。



金融機関によるCDPスコアの活用: サステナビリティリンクローン(みずほ銀行)



Formosa Plastics Group(台湾プラスチックグループ)



(Formosa Chemicals & Fibre Corporation, Nan Ya Plastics, Formosa Plastics Corp)

(貸付人:みずほ銀行)

- サステナビリティ・リンク・ローン原則、環境省によるグリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドラインに準拠
- 台湾において邦銀では初の第三者意見を取得したサステナビリティ・リンク・ローン

SPTs → 達成状況に応じて金利が変動するインセンティブ

▼ CDP気候変動・水セキュリティのスコア目標

▼ 温室効果ガスの排出状況等について達成目標

融資先	Formosa Chemicals & Fibre Corporation
金額	25億TWD
極度設定日	2021年12月15日

融資先	Nan Ya Plastics Corporation
金額	25億TWD
極度設定日	2021年12月16日

融資先	Formosa Plastics Corporation
金額	25億TWD
極度設定日	2021年12月21日

Formosa Plastics Groupの3社に対し、サステナビリティ・リンク・ローンを設定。



“水のリスク”とは

水不足

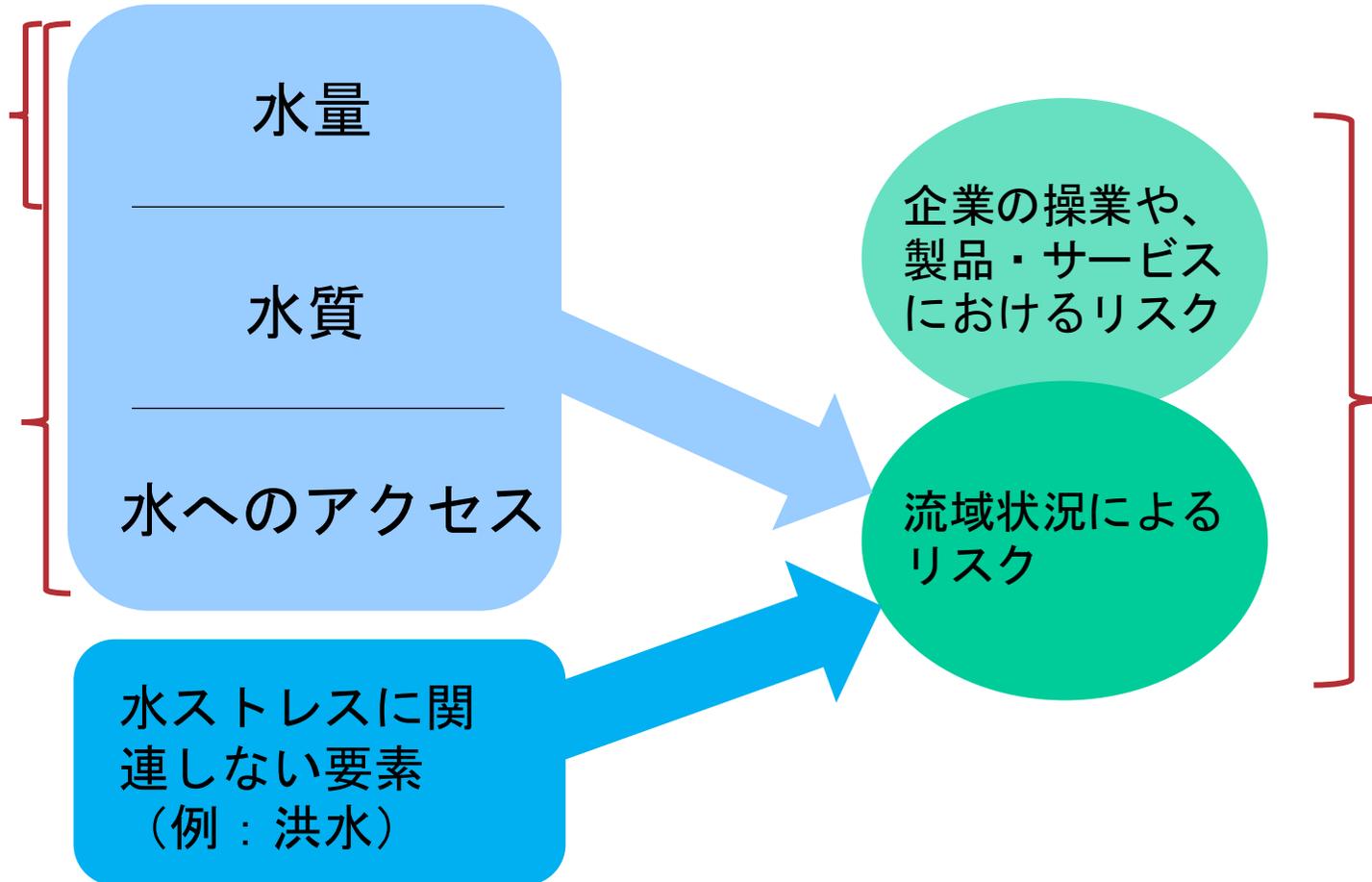
Water scarcity

需要に対して水量が
足りていない

水ストレス

Water stress

必要な量・質の水
が手に入らない



水リスク

Water risk

- 物理的リスク
- 評判リスク
- 規制リスク
- ...etc.

今年、プライム市場の中でも水リスクの高いセクターが新たに追加で要請されています

▼水セキュリティに関する影響の有無

当該産業活動に関連するバリューチェーン(①操業の直接的影響 (direct operations), ②サプライチェーン、③製品使用、の3段階で構成される)の各段階において、水セキュリティに有害な影響を与える、及び/又は、影響を受ける可能性があるか。

▼水セキュリティに与える影響の大きさ

当該産業活動に関連する水セキュリティへの/からの潜在的影響はどの程度大きいのか。



CDPではリスク評価ツールを無料で公開しています。 CDP Water Impact Index ([こちら](#))



バリューチェーンの3つの
主要な段階（直接操業、サ
プライチェーン、製品使
用）でランク付けを行い、
セクター別に水セキュリ
ティの観点からのリスク度
合いを示したものの。

※詳細な分析結果をExcel形式で入手可

Explore the Water Watch sample
Search by industry, keyword or click on a column to sort - see key below

その他、水セキュリティ回答要請の選定基準



▼ 収益の閾値

当該産業活動に関連する企業収益はどの程度大きいかな。

▼ アパレル業界でも水への影響が高い企業かどうか

アパレル業界の時価総額上位100社と、水への影響度が高いその他の大手アパレル企業が含まれる。アパレル及び繊維関係のバリューチェーン全体でウォーター・スチュワードシップを向上させるためのイニシアチブ(スイス開発協力庁(SDC)が資金提供)が基となっている。

▼ 食品バリューチェーン

WBA(World Benchmark Alliance)のWBA350 Indexや、[FAIRR Company Universe](#)で確認されている、上場企業または負債を発行している企業の一部が追加で選定されています



CDP質問と密接に関連しているSDGグローバル指標



SDG グローバル指標	
6.1.1	安全に管理された飲料水サービスを利用する人口の割合
6.2.1	(a)安全に管理された公衆衛生サービスを利用する人口の割合(b)石けんや水のある手洗い場を利用する人口の割合
6.4.1	水の利用効率の経時変化
6.4.2	水ストレスレベル: 淡水資源量に占める淡水採取量の割合
6.5.1	統合水資源管理(IWRM)の度合い
6.6.1	水関連生態系範囲の経時変化



水セキュリティ質問を構成する関連枠組み

▼ CEO water mandate

水の持続可能性に関する方針と実践について、企業の発展、実践、情報開示を支援する官民イニシアチブ

CDPとのかかわり

モジュールの構造はCEOウォーターマנדート・ガイドラインの構成に概ねしたがっており、企業がウォータースチュワードシップの道程をたどり、投資家に関連データを提供します。

主にガバナンスの部分でこのガイダンスの中で、「水のマネジメントとガバナンス」分野に関連し、CEOウォーターマנדートに参加している企業はマנדートの6つのコアエレメントを使用して、自分たちの行動を構成し、説明することが推奨されています。

▼ GRI スタンドアード

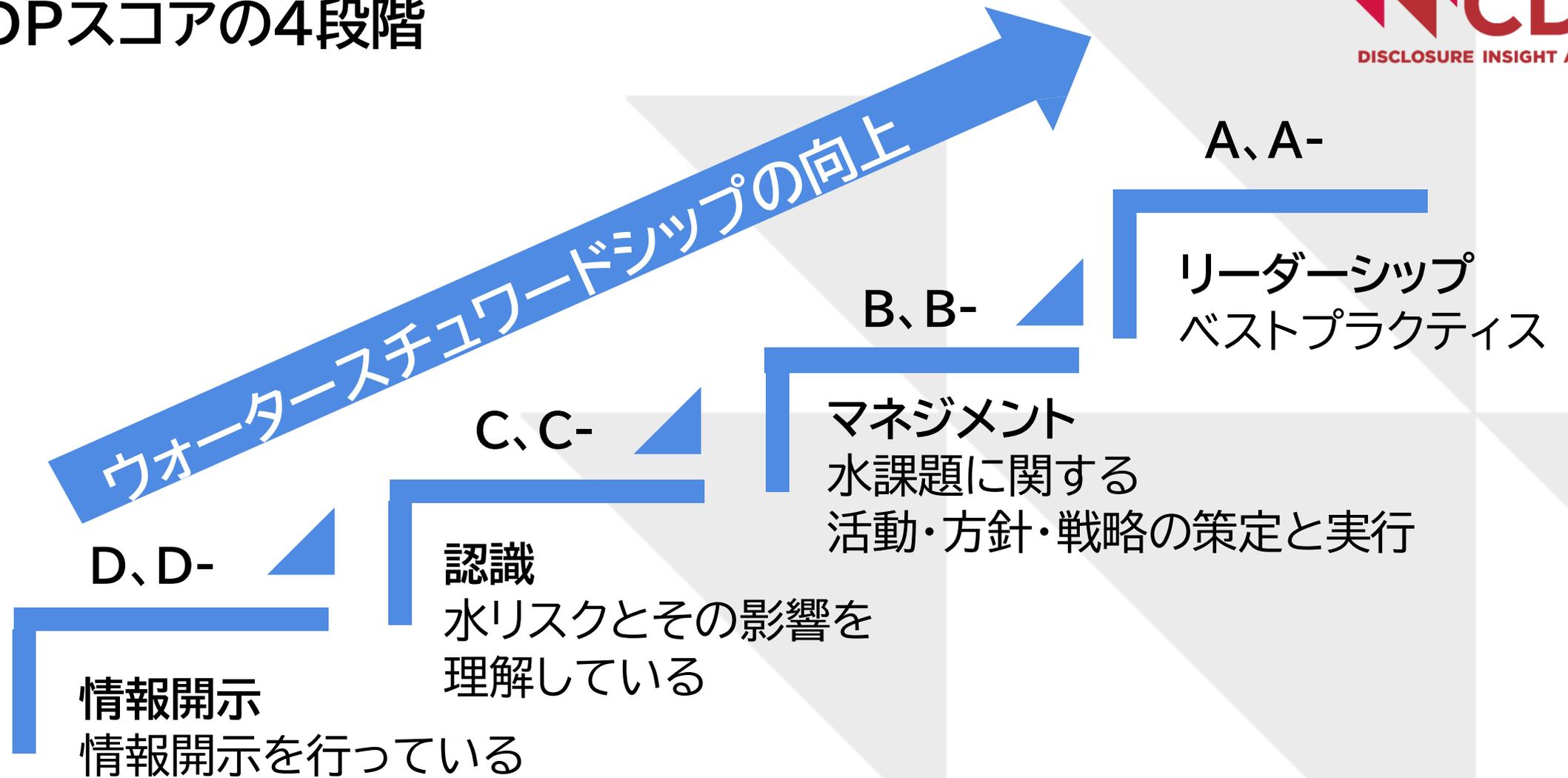
組織が経済、環境、社会に与えるインパクトを一般に報告する際の、グローバルレベルにおけるベストプラクティスを提示するための規準 303-4: 排水(clause 2.4.2) 303-3: 取水量など

▼ エレン・マッカーサー財団の[Global Commitment2023](#)

サーキュラーエコノミーを推進している団体。プラスチックに関する設問や方針などはこちらを参考にしています



CDPスコアの4段階



無回答企業のスコアはF



CDP水セキュリティ質問書:セクター

	セクター
エネルギー	電力事業(EU) 石油・天然ガス(OG)
輸送	—
素材	化学(CH) 金属・鉱業(MM) 石炭(CO)
金融	—
農業	農作物(AC) 食品・飲料・タバコ(FBT)
一般	セクター別質問書に 該当しない全ての企業

- ▶ 水への影響が大きいセクターの企業にはセクター別の設問が表示されます。
- ▶ 回答企業には、**CDPの活動分類システム(CDP-ACS)**に基づいてセクターが割り振られています。
- ▶ セクターを選択する際には、貴社に割り振られたセクターを含めてください。
- ▶ 回答するセクターによって回答する設問が異なるため、設問が貴社に当てはまらない場合には、質問番号が連続しない場合があります。

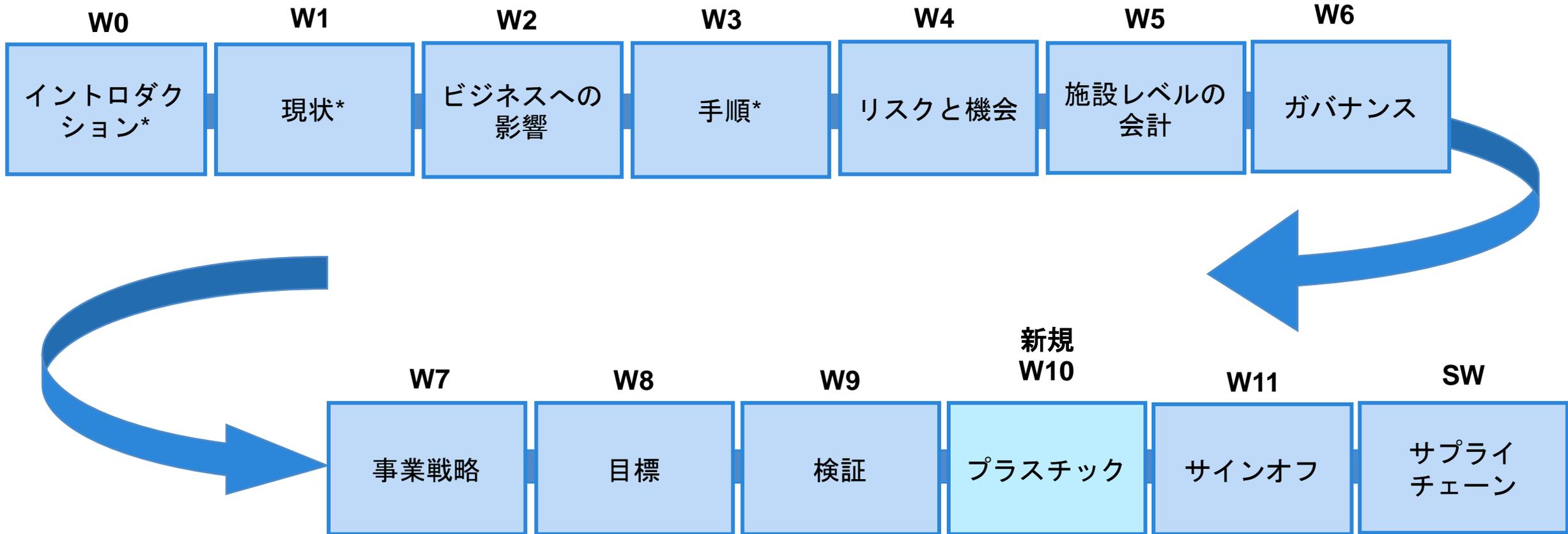


水セキュリティ質問書の構成 (2023)



▼水の安全な未来と、ビジネスを成功に導く目的

▼淡水資源への悪影響をなくす



* 一部、セクター固有の内容が含まれます。



CDP水セキュリティ質問書:構成



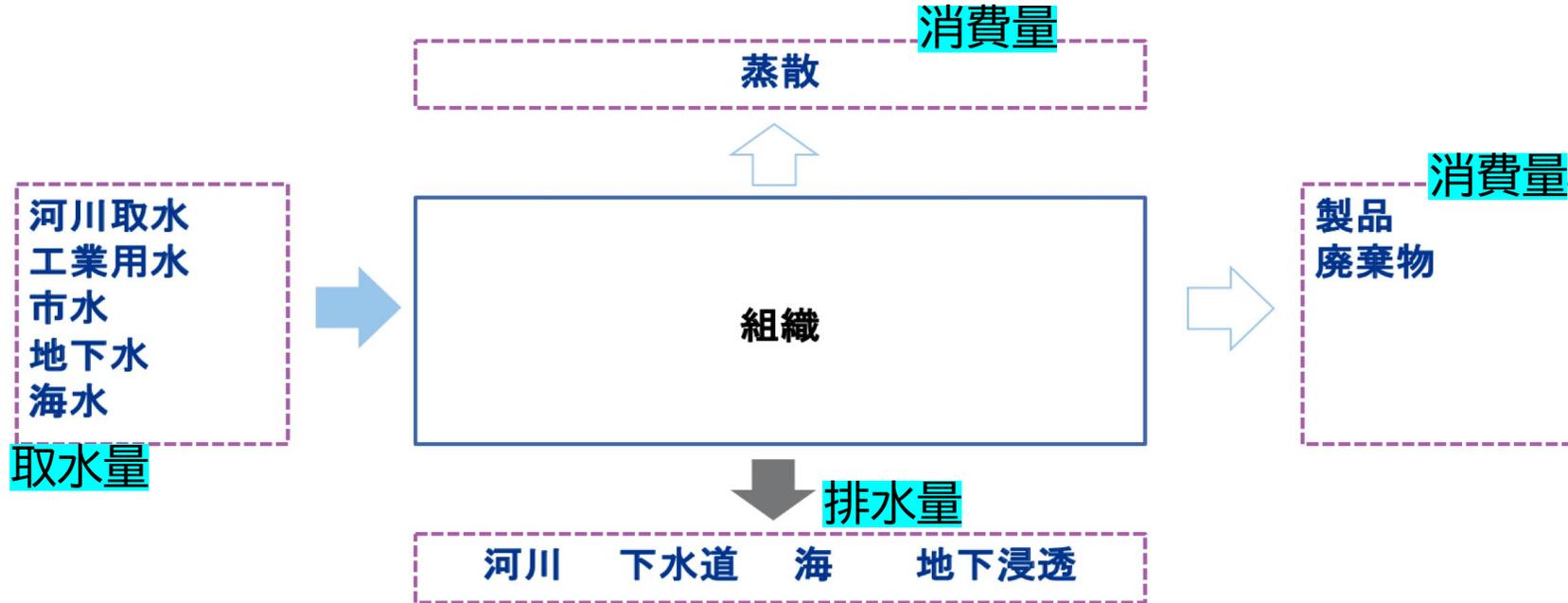
	2023モジュール	主な内容
一般の設問	W0 イントロダクション	会社概要、報告年、通貨、バウンダリ
	W1 現状	水への依存度、水会計(水のモニタリングの割合、取水量・排水量・消費量の合計値、水ストレスの大きい水域での取水量、リサイクル・再生水の割合)、バリューチェーンでの協働
	W2 事業への影響	報告年における水による事業への影響、水規制違反により受けた罰則
	W3 手順	水リスクの評価方法の手順・考慮される要素
	W4 リスクと機会	水リスクのある施設数・内容等、水関連リスクと対応、水関連の機会
	W5 施設レベルの水会計	施設レベルの水に関するデータ
	W6 ガバナンス	水関連方針、マネジメントの責任、政策への関与
	W7 事業戦略	事業計画、設備投資費/操業費、シナリオ分析、ウォータープライシング
	W8 目標	水関連目標と達成に向けた進捗
	W9 検証	水情報に関する外部検証
	W10 プラスチック	プラスチックに関する質問
	W11 最終承認	回答承認者の情報



CDP水セキュリティ質問書:W5 施設レベルの会計

「取水量」と「水消費量」:計算方法

▼ 現実的に「水消費量」をどのように計算すべきか？



水消費量 = 使用され、元の取水源に戻されない水の量
= 蒸散量 + 製品や廃棄物に含まれる水の量 + 取水した水源以外への排水量
= 取水量 - 取水した水源への排水量

水会計に関するテクニカルノートについては下記よりご覧ください。(英語)
[CDP Technical Note on Water Accounting](#)

新規モジュール： W10 プラスチック汚染

2023年 新規質問事項

このたび、「水セキュリティ」質問書において、初めてプラスチックが取り上げられることになりました。

ねらい

プラスチックの循環型経済を加速し、経済圏内から環境へ出さない

企業にとってのメリット

プラスチックフットプリントを理解することで、商業的、法的、風評的なリスクに対応可能

高需要

CDPキャピタルマーケットおよびサプライチェーンメンバの**81%**がプラスチックデータを求めています

関連資料

- ▼ [プラスチック関連質問追加に関するメディアリリース](#)
- ▼ [プラスチック特集ウェブページ](#)
- ▼ [プラスチックテクニカルノート](#)

5-10%

2050年 単一使用プラスチックからの世界排出量

\$1兆

プラスチック汚染除去の責任リスク

88%

企業は、プラスチックは関連性があると回答

主な質問事項

- ▼ 目標
- ▼ バリューチェーンマッピング
- ▼ リスク評価
- ▼ 環境影響
- ▼ 重量と循環の指標



CDP水セキュリティ質問書:用語の定義



▼ 取水(Water withdrawal)

企業または工場で使用したすべての水の総量

▼ 表面淡水(Fresh surface water)

- ・地下にない表面淡水
(雨水や湿地、河川や湖などの水を含む)
- ・氷床や氷河なども含む

▼ 汽水(Brackish water)

塩分濃度が比較的高い水(10,000 mg/L以上)
(海水は「汽水」に含まれない)

▼ 地下水 再生可能(Groundwater - renewable)

地下にある水で、50年以内に自然から水が補充され、比較的に浅いところにある地下水のこと

▼ 地下水 再生不可能(Groundwater - non-renewable)

50年のタイムスケールで自然から水が補充されておらず、比較的深いところにある地下水。水循環の一環に入っていない、孤立している地下水

▼ 随伴水(Produced water)

※金属・鉱業セクターのみ

- ・石油およびガス貯留槽内の地下に閉じ込められた水が採掘中に地表に出てきたものを指す
- ・たいていはリサイクルされ、関連する工程で使用される

▼ 混入水(Entrained water)

※金属・鉱業セクターのみ

金属・鉱業セクターにおける、原料に含まれる水の量



CDP水セキュリティ質問書:用語の定義



▼ 第三者からの水(Third-Party sources)

- ・都市用水からの水や公的／私営施設からの水、他の機関からの汚染水なども含む

▼ 水不足(Water Scarcity)

- ・淡水資源の量的な不足
- ・水不足は、人が引き起こすものである。すなわち、水不足はある地域における水資源の量に対する人の水消費量に左右される。したがって、水が極めて少ない地域にもかかわらず人による水の消費のない地域は水不足地域ではなく「乾燥」地域であるとみなされる。

▼ 水ストレス(Water Stress)

- ・淡水に対する人と生態系の需要を満たす能力またはその能力の不足
 - ・水ストレスは、水不足と比較してより包括的かつ広範な概念。水ストレスでは、水の利用可能性、水質、水へのアクセスなどの水資源に関連するいくつかの側面について考慮する。水へのアクセスは、とりわけインフラの充足性や水の価格に左右されることが多い。
- ※水ストレスは様々な定義がありますので、ガイダンスを参考に貴社で定めた基準を明確にしてください、それに沿ってご回答ください

CDP水セキュリティ質問書:用語の定義



▼ 物理的リスク

企業に対して直接または間接的な影響を及ぼすような法律や規制の予期される、または予期されない変更や不確実性によって生じる。

▼ 規制リスク

水ストレスや水不足、洪水、汚染により生じる場合がある。物理的リスクは、生産に対する悪影響または物的資産に対する損害を引き起こす。

▼ 評判リスク

訴訟による影響、消費者行動の変化による製品リスク、投資家、消費者および現在／将来の従業員の企業に関する意思決定に影響を及ぼす可能性のあるリスク

CDP水セキュリティ質問書:用語の定義



▼ 取水量

- ・用途を問わず、あらゆる水源(地上水、地下水、雨水、地方自治体の水道など)から報告組織のバウンダリへ取水された総量(GRIガイドラインにおける定義)
- ・直接取水した水と仲介者が取水した水が含まれる

▼ 水消費量

- ・使用され、元の取水源に戻されない水の量(Ceres Aqua Gauge における定義)
- ・蒸発した水、発散した水、製品、作物、廃棄物の一部となった水、人や家畜に消費された水、そのほかの方法で水源から除去された水が含まれる
- ・消費してしまい、水源から除去された水の量

その他の用語の定義については[回答ガイダンス](#)をご覧ください。

活用できるツール例一覧

グローバルな水リスク評価ツール

▼ WWF Water Risk Filter

▼ WRI Aqueduct

その他、レポートでのコラム等も必要に応じてご参照ください。

▼ CDP 水セキュリティレポート 2020:日本

コラム内容:ウォータースチュワードシップ、インターナルウォータープライシング

▼ CDP 水セキュリティレポート 2021:日本版

コラム内容:ますます望まれる水セキュリティの情報開示

※最新のレポートについては[こちらのページ](#)に掲載しています

▼ グローバル水セキュリティ特設ページ



2022年→2023年の変更範囲

日本語での変更点情報は[こちら](#)に記載
 変更点詳細資料は[こちら](#)に掲載(英語のみ)



▼ 質問書の73%は変更なし、または軽微な変更

▼ 質問の削除

- 1つの質問を完全に削除(2023年 W8.1b)
- 2つの質問を削除し、データポイントを他の質問に組み入れ (W1内)

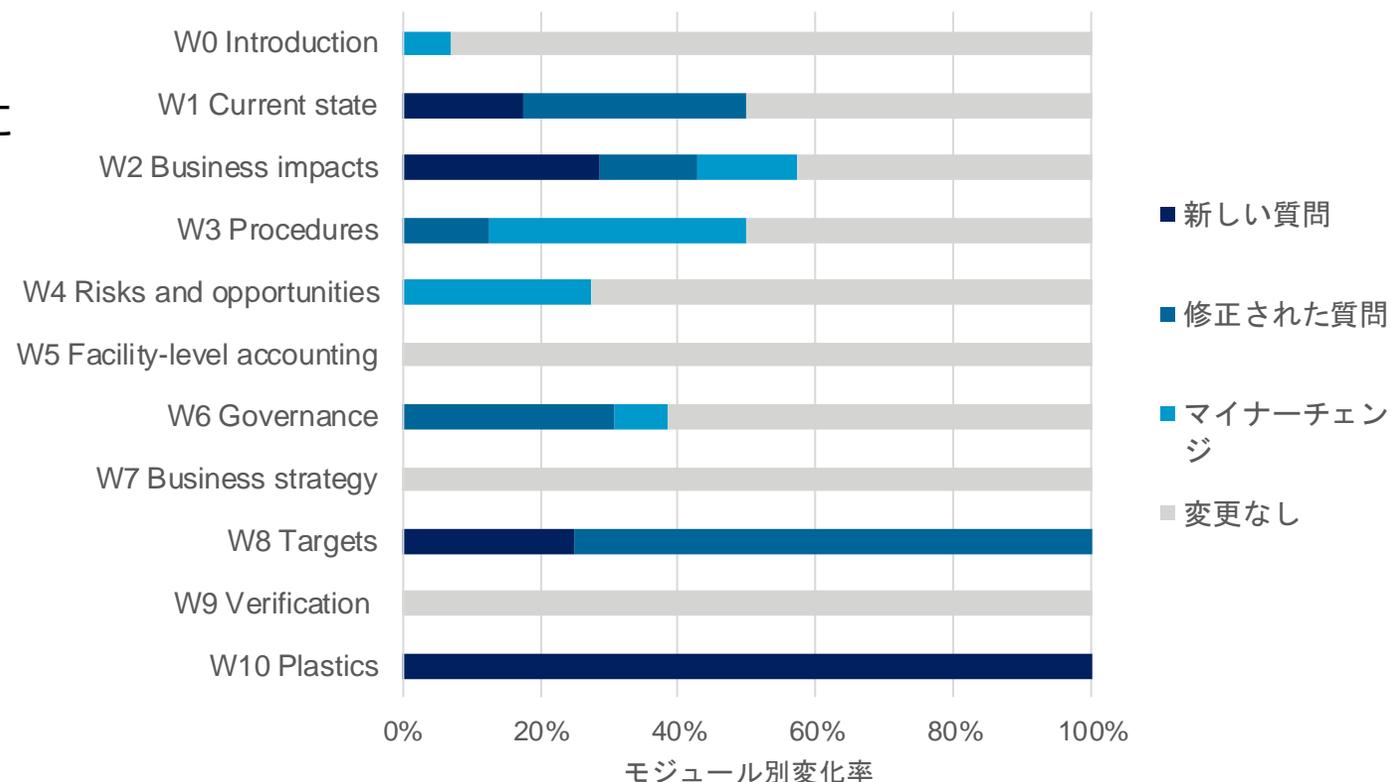
▼ 18の新しい質問

- 水セキュリティ 9つ、プラスチック 9つ

▼ セクター固有の変化

- FBセクターの質問 8 つは本年、ACセクターにも提示
- MMセクターの質問7つは本年、COセクターにも提示
- CH、EU、FB、OGの質問 2つを修正し、全回答企業に提示

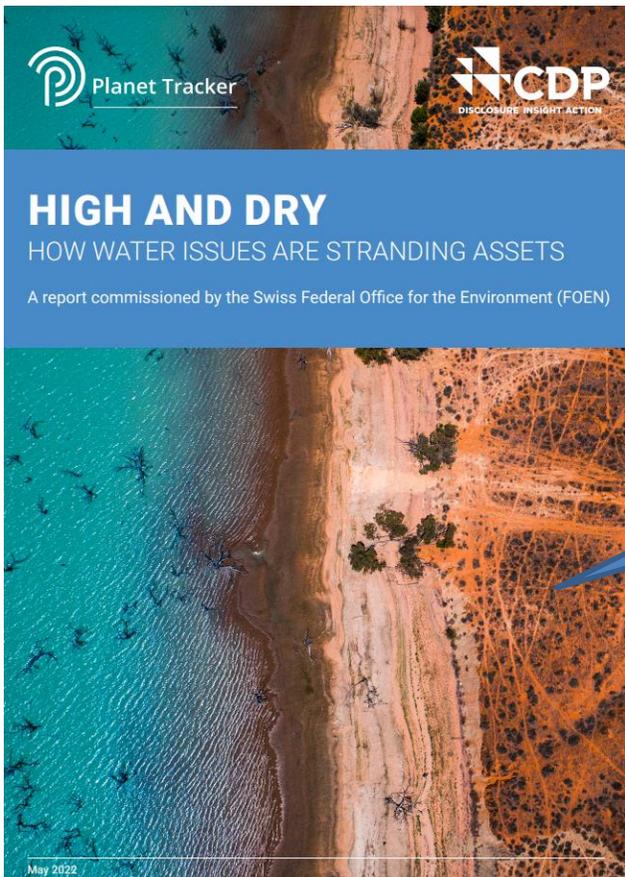
モジュール別の変更点



2023年の総出題数:85問

(セクター固有質問とサプライチェーンモジュールを除く)

直近の水セキュリティ関連レポート



石炭、電力事業、金属・鉱業、石油・ガス
セクターにおける水リスクに関連した座礁
資産化に関するレ
ポート

日本語訳はこちら



(英語のみ)

ESG情報としての水関連
情報開示規制に関する
レポート





CDP Worldwide-Japan

Address:東京都千代田区大手町2-2-1新大手町ビル3階



<https://japan.cdp.net/> (日本語サイト)



問い合わせ先代表: ヘルプセンター

その他各お問い合わせ先については、ホームページをご確認ください。

